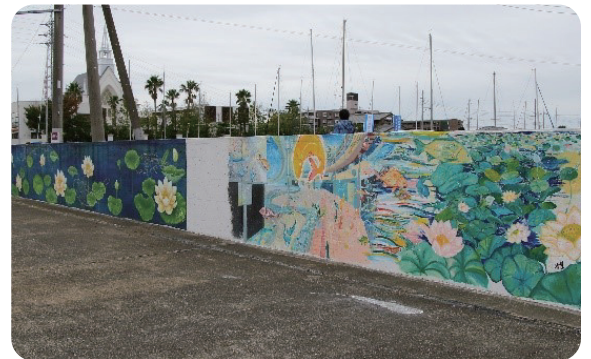


泳げる霞ヶ浦を目指して サテライトつちうら

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)

開催記念誌

霞ヶ浦（自然）の恵みを未来に引き継ぐために
私たちのパートナーシップ



第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら実行委員会

開催記念誌

目次

土浦市長あいさつ

世界湖沼会議市民の会'18会長あいさつ

第17回世界湖沼会議サテライトつちうら実行委員会 委員長あいさつ

開催趣旨・テーマ・概要 6

サテライトつちうら 第1弾 第23回泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル ～「ハイスクール会議」の成果報告～

ハイスクール会議 ～高校生が考える将来の湖沼と流域 11

・ 茨城県立土浦第一高等学校 13

・ 茨城県立土浦第三高等学校 15

・ 常総学院高等学校 17

・ 土浦日本大学高等学校 19

・ つくば国際大学高等学校 21

・ 茨城県立竹園高等学校 23

ハイスクール会議に参加して(各校感想) 25

サテライトつちうら 第2弾 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 夏まつり ～「流域連携市民会議」の成果報告～

サテライトつちうら第2弾 31

サテライトつちうら 第3弾 メイン大会 ～開催イベント紹介～

・ メイン会場プログラム 39

(2F 会場プログラム, パネルディスカッション・1F ポスター展示会場配置図)

・ 壁画アート, SDG'sクイズ大会&ダンスショー 43

・ 防塵挺身隊 ゴミ拾い 46

・ 誰でも楽しもう霞ヶ浦 観光遊覧船, カヌー&アクセスディンギー体験 47

・ YEGサイクリングイベント・YEGうまいもの市 48

・ ランニングバイク乗車会 49

・ 「映像展」 50

・ 廃ガラスアート大作品展 51

・ つちうらが好き!ライブ&うららひろばマルシェ 52

・ 第13回土浦市環境展 54

サテライトつちうら 第3弾 メイン大会 ～発表団体活動事例集～

1 霞ヶ浦湖上体験スクールスタッフの会 57

2 NPO法人 茨城県環境カウンセラー協会 61

3 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 63

4 (公社)日本技術士会茨城県支部 65

5 NPO法人ネイチャークラブにいほり 67

6 霞ヶ浦水辺ふれあい事業実行委員会 69

7 土浦市ネットワーカー等連絡協議会 71

8 土浦市市民生活部環境保全課(環境教育) 72

9 牛久市小坂団地行政区 78

10 土浦市消費生活連絡協議会 79

11	土浦暮らしの会	81
12	土浦市家庭排水浄化推進協議会	82
13	土浦市中村ブロック地区長会	83
14	霞ヶ浦問題協議会	84
15	(一社)霞ヶ浦市民協会	90
16	認定NPO法人穴塚の自然と歴史の会	99
17	土浦植物友の会	105
18	陸平をヨイショする会	106
19	NPO法人地球の緑を育てる会	108
20	土浦の自然を守る会	109
21	水郷水都全国会議	111
22	霞ヶ浦研究会	113
23	霞ヶ浦水質調査研究会	115
24	NPO法人環境技術士ネットワーク	117
25	茨城県生物多様性センター	119
26	(国研)農研機構 農業環境変動研究センター	121
27	(国研)国立環境研究所	123
28	(国研)土木研究所 水環境研究グループ 河川生態チームおよび水質チーム	124
29	霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会	125
30	世界湖沼会議かすみがうらサテライト実行委員会	127
31	茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所	129
32	桜川漁業協同組合	131
33	(一社)日本釣用品工業会	133
34	NPO法人水辺基盤協会	135
35	HMBアウトドアクラブ 霞ヶ浦Cycling team	137
36	セイラビリティー土浦	139
37	茨城県環境創造事業推進協議会	141
38	茨城県政策企画部地域振興課	142
39	イービストレード(株)	143
40	八千代エンジニアリング(株)	144
41	(独)水資源機構利根川下流総合管理所	146
42	国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦導水工事事務所	147
43	国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所	148
44	茨城県県民生活環境部環境対策課	149
45	茨城県流域下水道事務所	152
46	土浦市建設部下水道課	153
47	土浦市市民生活部環境衛生課	155
48	土浦市市民生活部環境保全課(水質浄化対策)	157

第17回世界湖沼会議サテライトつちうら実行委員会 委員名簿・メッセージ

委員名簿	163
メッセージ	164
開催結果	175
協賛団体	193

挨拶



第6回世界湖沼会議（霞ヶ浦'95）開催から23年を経て、本年10月に、茨城県で2回目となる第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）が開催されるにあたり、日本第2位の面積を誇る霞ヶ浦を臨む土浦に多くの皆様をお迎えし、「サテライトつちうら」が開催されますことを大変喜ばしく感じております。また開催にあたりご尽力を賜りました関係各位の皆様に深く感謝を申し上げます。

世界湖沼会議は、研究者のみならず市民、企業、行政など様々な分野の参加者が集まり、世界の湖沼及び流域で起こる多種多様な環境問題やそれらの解決に向けた取組みについて、それぞれの立場を超えて、考え方や行動についての議論や交流を深める場となっております。

平成7年に初めて茨城県で開催された第6回世界湖沼会議（霞ヶ浦'95）は、本市及びつくば市にて開催され、この会議が契機となり、水環境保全の研究、市民活動の拠点となる「茨城県霞ヶ浦環境科学センター」が開館し、市民団体、行政などによる、霞ヶ浦流域環境に関わる取組みが加速いたしました。

そこで今回、第17回世界湖沼会議の開催にあたりまして、本市では「霞ヶ浦（自然）の恩恵を未来に引き継ぐために 私たちのパートナーシップ」をテーマに、これまで霞ヶ浦流域で行われてきた様々な主体による取組み・活動の発表、意見交換などを行い、お互いの活動を認識し、認め合い、さらに、それぞれの主体が目指したいと思える共通の「霞ヶ浦の将来像」を見出すことを最終目標として、全3回の『サテライトつちうら』を開催することといたしました。

第1弾「泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル」（7月16日開催）では、6校の高校生による「ハイスクール会議」を、第2弾「茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏まつり」（8月25日開催）では、霞ヶ浦流域で活動するレンコン生産者、漁業者、林業者、里山保全者、大学生による「流域連携市民会議」を開催し、活動報告及び「霞ヶ浦流域の将来像」についてディスカッションを実施いたしました。

そして第3弾となる「サテライトつちうらメイン大会」（10月13日開催）では、土浦駅を挟む東西の各施設におきまして、多様な団体が各自企画・運営する、多彩なイベントを連携して実施し、中でもメイン会場では、第1弾・第2弾の報告、霞ヶ浦流域で活動する約50団体の取組事例発表及びパネルディスカッションを実施し、「霞ヶ浦の将来像」について考えます。

今回の「サテライトつちうら」を契機といたしまして、御来場された皆様をはじめ、多くの方に「霞ヶ浦の将来像」について感じ、考え、行動していただければ幸いです。

今後は、市民、研究者、企業、行政の4者間パートナーシップを一層強化し、霞ヶ浦の恵みを未来に引き継ぐため、湖沼問題の解決に邁進してまいりますので、皆さまにもご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。

平成30年10月

土浦市長 中川 清

市民参加の世界湖沼会議に！



第 17 回世界湖沼会議を迎えるにあたり、サテライトつちうらにおきましては、市民、行政、産業界など約 30 もの各種団体で実行委員会を組織し、7 月に第 1 弾「第 23 回泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル with ハイスクール会議」を、8 月に第 2 弾「霞ヶ浦環境科学センター夏まつり 2018 with 流域連携市民会議」を開催、多くの皆様にご来場いただきましたことに深く感謝を申し上げます。

遡れば 1993（平成 5）年、2 年後に控えた第 6 回会議を従来の学術会議に留まらず、一般市民も積極的に参加しようと組織されたのが「世界湖沼会議市民の会」（堀越昭会長）です。当時の霞ヶ浦は生活排水等に起因する汚濁が進み、水質は悪化の一途でした。土浦駅に降り立つと「臭い」、霞ヶ浦を見ると「汚い」、水道水は「まずい」。霞ヶ浦の水で生活をし、この状況をどうにかしなければと思っていた市民たちは、個人や団体を問わず会の活動に参加し負荷対策や意識啓発に務めました。また、市民だけではなく、行政、企業、研究者も会に参加し、同じ目的を持ち、互いにパートナーシップの精神で協力し合いながら動いたことも、この会の大きな特徴でした。

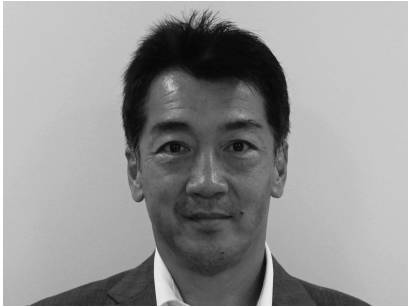
それから 20 年余、人々の努力が実を結び、霞ヶ浦の水質はだいぶ改善してきました。これは喜ばしいことです。しかし同時に人々の関心は、霞ヶ浦をはじめとする湖沼や流域から急速に離れてしまっています。今、我々が享受している水の恩恵を当たり前のこととして看過し、関心すら持たないということは、とても怖いことです。いつか昔と同じ轍を踏むことになるかもしれません。そこで、第 17 回会議を控えた 2016（平成 28）年 10 月、再び市民の意識と力を結集させようと、（一社）霞ヶ浦市民協会が声をかけ発起人団体を組織し、県内 24 団体で設立したのが「世界湖沼会議市民の会'18」（＝ワン・エイト）です。本会の設立趣意には「ワン・エイトの旗印のもとに、第 17 回世界湖沼会議に積極的に参加するとともに、茨城県内各地で湖沼の利活用・環境保全・地域の振興等にかかる多面的活動を展開する」と記しました。会員は県内各地にありますが、土浦市、かすみがうら市、鉾田市、茨城町、水戸市の 5 箇所のサテライト会場で実行委員として参加し、市民が世界湖沼会議に積極的に関わる窓口として、また、身近な湖沼や流域へ関心を導く案内役として、互いの情報共有化を図っております。

当会の活動は会議後も続きます。ぜひとも、サテライトつちうらに参集した皆様とも、たゆまず、そして楽しく、次世代に渡すべき道を築いてまいりたいと願っております。

平成 30 年 10 月

世界湖沼会議市民の会'18 会長 市村和男

歓迎のことば



第17回世界湖沼会議サテライトつちうら第3弾「サテライトつちうら メイン大会」が、ここ土浦市において盛大に開催されるにあたり、御来場いただいた皆様に対し、本大会の企画・運営スタッフを代表して、心から歓迎申し上げます。

御承知のとおり、10月15日から茨城県では1995年の第6回以来23年ぶりとなる「第17回世界湖沼会議

(いばらき霞ヶ浦2018)」が開催され、土浦市はサテライト会場とされております。

土浦市では、世界湖沼会議開催の気運醸成を目的とするともに、「霞ヶ浦（自然）の恩恵を未来に引き継ぐために 私たちのパートナーシップ」をテーマに、第6回開催から今日まで霞ヶ浦流域をフィールドとして活動してきた市民、研究者、企業、行政の取組みを共有し、連携を図り、「霞ヶ浦の将来像」を考えることを目的とし、「サテライトつちうら」を第1弾「泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル」、第2弾「茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏まつり」にて開催してまいりました。

第3弾メイン大会では、メイン会場（L'AUBE）に約50団体が集まり、霞ヶ浦流域での活動発表、「霞ヶ浦の将来像」についての議論が交わされるほか、広範囲にわたり、多彩なイベントを開催します。当日朝には、会場周辺や桜川のゴミ拾いが実施され、土浦駅東側メイン会場付近では、おいしい屋台が並んだYEG うまいもの市や港の防潮堤の壁画アートが来場者を迎え、霞ヶ浦遊覧船、カヌー体験、SDGsクイズ大会&ダンスショー等を行います。また、川口運動公園外周道路等では、YEGサイクリングイベントとして、試乗や遅乗り競争などが開催されます。

土浦駅西側では、土浦市民ギャラリーにて、「みんなの湖沼写真コンテスト」入賞作品展示等の「映像展」、約1,000枚の「世界湖沼会議 廃ガラスアート大作品展」の開催、うららにて、つちうらが好き！ライブ&うららマルシェにより、霞ヶ浦の恩恵に関する曲等を発信し、土浦市環境展では、多くのブース展示やステージショーが行われます。

御来場された方々が、本大会を楽しんでいただくと同時に、「霞ヶ浦」について少しでも感じ、考えていただき、興味をもっていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、御尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、御来場の皆様と霞ヶ浦の御多幸を祈念し、歓迎のことばといたします。

平成30年10月

第17回世界湖沼会議サテライトつちうら実行委員会委員長 阿部 彰

開催趣旨

土浦市は、平成7年に開催された第6回世界湖沼会議においてつくば市と共に会場となった地であり、平成30年10月15日から19日に開催される第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)では、サテライト会場を開催します。

この間、第6回世界湖沼会議を契機に結成された一般社団法人霞ヶ浦市民協会をはじめ、多種多様な市民団体、国、県、市など様々な主体が様々な角度から霞ヶ浦や流域環境(森林整備、里山保全など)にかかわって、持続可能な生態系サービスを目指して取り組んでいます。

土浦のサテライト会場では、前回湖沼会議から今回湖沼会議までの様々な取り組みを集め、共有する場として、できるだけ多くの取組主体に参加してもらい、お互いの活動を認識し、認め合い、さらに、個々の主体がそれぞれの方法で目指したいと思える共通の「霞ヶ浦の将来像」を見出すことを最終目標として『サテライトつちうら』を開催します。



開催テーマ

霞ヶ浦(自然)の恵みを未来に引き継ぐために 私たちのパートナーシップ

- 主催 土浦市、茨城県、公益財団法人国際湖沼環境委員会(ILEC)
- 共催 国土交通省、環境省、農林水産省、つくば市、かすみがうら市、鉾田市、茨城町、水戸市、霞ヶ浦問題協議会、ラムサール条約登録湿地ひぬまの会
- 主管 第17回世界湖沼会議サテライトつちうら実行委員会
- 協力 茨城県霞ヶ浦環境科学センター、いばらきコープ生活協同組合、NPO 法人エコレン、泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル実行委員会、霞ヶ浦グラウンドワーク、(一社)霞ヶ浦市民協会、国土交通省霞ヶ浦河川事務所、国土交通省霞ヶ浦導水工事事務所、認定 NPO 法人穴塚の自然と歴史の会、常陽観光(株)、世界湖沼会議市民の会'18、つちうらが好き！実行委員会、土浦暮らしの会、土浦市家庭排水浄化推進協議会、土浦市環境基本計画推進協議会、(一社)土浦市観光協会、土浦市消費生活連絡協議会、土浦市地区長連合会、土浦市まちづくり市民会議、土浦商工会議所、(一社)土浦青年会議所、土浦農業協同組合、土浦の自然を守る会、(公社)土浦法人会青年部会、東京電力パワーグリッド(株)土浦支社、NPO 法人まちづくり活性化土浦、NPO 法人水辺基盤協会、(株)ラクスマリーナ(50音順)

事務局 土浦市市民生活部環境保全課

開催概要

【第1弾】泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル

開催日時 平成30年7月16日(月・祝)

参加者数 6,000人

概要

毎年開催されている「泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル」において、「ハイスクール会議」と称した高校生による会議を開催。将来の湖沼と流域について、各校より発表及びディスカッションを実施し、メインステージにて会議の報告を行った。

【第2弾】茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏まつり

開催日時 平成30年8月25日(土)

参加者数 4,800人

概要

「茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏まつり」の一角を利用し、ハイスクール会議の結果を報告するとともに、「流域連携市民会議」を実施。霞ヶ浦流域で活動する漁業者、農業者、林業者、里山保全者、大学生が活動報告を行い、霞ヶ浦流域の将来像についてパネルディスカッションを実施した。

【第3弾】サテライトつちうら メイン大会

開催日時 平成30年10月13日(土)

概要

土浦駅東会場(L'AUBE, 土浦港, J:COM スタジアム土浦), 駅西会場(土浦市民ギャラリー, うらら大屋根広場, 茨城県県南生涯学習センター)などを会場として、多様な団体による多彩なイベントを開催。

メイン会場となるL'AUBEでは、市民団体、企業、行政等が霞ヶ浦流域で実施してきた様々な取組み・活動のパネル展示、口頭発表、意見交換を行う。

(メイン大会開催イベント)

- ・土浦港防潮堤の壁画アート(土浦港)
- ・SDGsクイズ大会(J:COM スタジアム土浦)
- ・YEG うまいもの市(川口運動公園入口:飲食ブース等)
- ・YEG サイクリングイベント(川口運動公園周遊道路及び霞ヶ浦つくばりんりんロード)
- ・ランニングバイク試乗会(川口運動公園プロムナード奥)
- ・防塵挺身隊によるゴミ拾い(桜川・土浦港)
- ・誰でも楽しもう霞ヶ浦(土浦港:カヌー, ヨット体験)
- ・観光遊覧船(土浦港:ホワイトアイリス号, ジェットホイルつくば号)
- ・ミニFM放送局(L'AUBE 前)
- ・霞ヶ浦の恵みdeお・も・て・な・し(L'AUBE 前屋外テント:地産食材料理の無料提供)
- ・霞ヶ浦直接浄化実証施設見学会(土浦港)
- ・「映像展」-みんなの湖沼 写真コンテスト-(土浦市民ギャラリー)
(平成30年10月9日～平成30年10月13日)
- ・廃ガラスアート大作品展-世界湖沼会議記念作品-(土浦市民ギャラリー)
(平成30年10月9日～平成30年10月14日)
- ・つちうらが好き!ライブ&うららマルシェ(うらら大屋根広場)
- ・第13回土浦市環境展(茨城県県南生涯学習センター)